

令和2年3月12日

西部農林振興センター 益田事務所 農業普及部

標 題	令和元年度西部地区肉用牛振興大会を開催 ～西部和牛産地の未来をみんなで考える第一歩！～
------------	--

(ダイジェスト)

2月28日に益田市市民学習センターにおいて、令和元年度西部地区肉用牛振興大会が開催されました。今年度は県央地区畜産総合センターの土江氏にお越しいただき、同センターの取り組みと課題についてご講演いただきました。生産者からは「後継者対策等、将来のビジョンを見極めて行動していくことが重要と感じた。」などの意見があり、西いわみの和牛産地の課題や将来について考える機会となりました。

本大会は、浜田、益田管内の肉用牛繁殖農家を対象に浜田地方農林業振興協議会、石西地域農林振興協議会の共催により毎年開催されています。今年度は「一体感を持った特色ある子牛市場と和牛の産地づくり」をテーマに、以下の内容で行いました。

振興大会内容

1. 表彰式	
2. 畜産情勢報告	JAしまね
3. 家畜人工授精優良技術発表会受賞報告	佐々木恵美氏
4. 西部子牛市場報告、子牛飼い方マニュアルの使い方	益田普及部、技術普及部
5. 投薬履歴、ビジョン取組報告	益田普及部
6. 講演「県央畜産総合センターの運用状況と課題」	土江技監

今年の大会も西いわみ和牛改良組合の表彰（平均分娩間隔 375 日、全国 3 位）から始まりました。今年で 10 年連続の受賞となり、長年の生産者の頑張りや、管内関係機関が集まって行う繁殖巡回の取組の成果が実を結んでいます。

その後、今年2月14日に開催された家畜人工授精優良技術発表全国大会にて最優秀賞（西川賞）を受賞された認定新規就農者の佐々木恵美氏（益田市）から「新規就農での経営安定に向けた繁殖管理」について報告していただき、生産者からも佐々木氏の取組について高い関心が寄せられました。

石西地域で取り組んでいる畜産振興ビジョンについて話題提供した後、土江氏にご講演いただき、生産者からは「西部にもセンターが欲しい」「後継者対策等将来のビジョンを見極めて行動していくことが重要と感じた。」などの意見がありました。

当普及部ではこれらの意見をふまえ、関係機関と連携して、ハード、ソフト両面の環境整備に取り組んでいきます。



↑ 表彰式の様子



↑ 佐々木恵美氏の報告